

## メッセージアウトライン

### ヤコブの手紙 1:1~4 「試練と忍耐」

[1] 「神と主イエス・キリストのしもべヤコブが、国外に散っている十二の部族へあいさつを送ります」

新約聖書には何人かのヤコブという人物が登場している。ルカ 6:14~16 にはイエスの十二弟子の名が記されており、その中の二人がヤコブという名である。ヨハネの兄弟ヤコブとアルパヨの子ヤコブ。またイスカリオテのユダでないもうひとりのユダの父の名もヤコブである。このうちヨハネの兄弟ヤコブはヘロデ・アグリッパ王によって AD44 年に殉教の死を遂げている。

→使徒 12 章 この手紙の内容はもう少し後の時代の教会の様子がかがえるので、彼がこのような内容の手紙を書いたとは考えられない。また、聖書学者の誰も彼が書いたことには同意していない。そしてアルパヨの子ヤコブやユダの父ヤコブについても彼らについては新約聖書にはこれ以上何も書かれてはおらず、彼らのうちどちらかが著者であるとは考えられたことはない。では著者はだれか。新約聖書にはもうひとりのヤコブという人物が登場している。それは主の兄弟ヤコブである。イエスは処女マリヤの上に聖霊が臨まれてこの世に人となって来られたが、その後、マリヤとヨセフの普通の結婚生活で生まれた子たちの名が記されている。→マタイ 13:55~56 ここに書かれている順番でいけば二男に当たる人物がヤコブである。このヤコブは最初イエスに反対していたが、イエスは復活後、このヤコブに特別に現れている。→I コリント 15:7 復活のイエスに出会ったヤコブは今までのいきさつからすべてを悟り、それ以後忠実なクリスチャンとなり、エルサレム教会の中でも十二使徒たちとともに指導的な役割を果たす者となった。→使徒 15 章 また「神と主イエス・キリストのしもべ」という簡単な自己紹介で始めることができるほどよく知られていること。こういった点を考慮していくと、この主の兄弟ヤコブこそこの手紙を書くにふさわしい人物であると考えられる。

「国外に散っている十二の部族」とは当時、世界に散らばって住んでいたユダヤ人のことを指す表現であるが、ここでの意味は使徒 7 章に記されているあのステパノの殉教以来の教会への迫害で各地に散らされた霊のイスラエルであるすべてのクリスチャンのことである。

[2] 「私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい」

迫害によって散らされたクリスチャンたちは言葉も生活も習慣も違う異国の地で様々な困難や試練に会ったことであろう。また一般的に言っても困難や試練はすべての人に共通の問題と言える。しかしクリスチャンには特に信仰上の試練というものがある。ここでヤコブはそのような試練への対処の仕方を教えている。その方法は「それをこの上もない喜びと思いなさい」である。以下にその理由が述べられていく。

[3-4] 「信仰がためされると忍耐が生じるということ、あなたがたは知っているからです。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何

一つ欠けたところのない、成長を遂げた完全な者となります」

①「信仰がためされると忍耐が生じる」…神は神を信じる者に対して決して耐えられないような試練を与えられることはない。→ I コリント 10:13 神は私たちのすべてをご存じで、その上で私たちに試練を送られるのである。それは私たちの信仰を鍛え、成長させるためである。

→ヘブル 12:5~6 そしてこのように信仰がためされることによって忍耐が生まれる。これはただじっと耐えてがまんするというような消極的な意味ではなく、確固たる力をもって問題を乗り越えていく能力を意味する。神は私たちに試練がなければ決して味わうことができないような段階へ成長させようとされるのである。

②「その忍耐を完全に働かせることによって何一つ欠けたところのない、成長を遂げた完全な者となる」…ヤコブの特長はこのように信仰を実践することを強調する点にある。忍耐はやって来るさまざまな苦難や試練を正面から受け止めて、乗り越えて勝利を得させるものであり、信仰者はそのように実際に忍耐を働かせることによって霊的な大人となっていくのである。ここで言う「完全な者」とはそのような意味であり、決して罪のない者とか罪を犯さない者になるということではない。忍耐こそクリスチャンの信仰の実践を完成させるものなのである。

試練に会い、信仰がためされる。忍耐が生じる。その忍耐によって成長したクリスチャンとなっていく。それゆえ、ヤコブはさまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさいとすることができたのである。そしてヤコブ自身もそのようにして成長した信仰者になったのであろう。彼は自分の信仰生活において体験したがゆえに他の人にも勧めることができたのである。

私たちもこのみことばの約束によって励まされて、信仰のさまざまな試練に会うときは逃げたり、避けたりしないで信仰を持ってそれに対処し、忍耐を働かせる者となり、成長した信仰者となっていきたい。